

6 ちいきれんけい 地域連携による「笠原の森」づくり



岐阜県土岐郡 笠原町

古くから窯業が盛んであった笠原町一帯は、原料の陶土の採掘や燃料等を得るため、山林を伐採し、その結果「禿げ山」が広がっていた。その後、昭和初期から山腹工が実施され概ね緑が回復した状態にあるが、近年のマツ枯れや里山としての管理不足から樹林の荒廃が進みつつあった。このような状況にあって、地元笠原中学校では、中学の裏山において、平成12年度から中学校の総合学習の時間を活用して、樹林整備活動を開始した。活動にあたっては、笠原町、岐阜県（東濃地域農林商工事務所）、国土交通省（多治見砂防国道事務所）等の行政機関と岐阜大学、地元ボランティア団体（稲荷神社奉賛会）が連携し、中学校の活動を支援している。

現在までに林内の歩道整備、歩道周辺の案内看板やベンチの設置などの環境整備が実施するとともに、活動内容を地域に情報発信することにより、地域に活動の輪が拡がりつつある。また、この活動

を通じて身近な自然との触れ合いの場の創出や世代間の交流が深まるなどの効果も生まれている。



ベンチ設置状況



地域との交流、情報発信実施状況

DATA - 6

- ①岐阜県土岐郡笠原町
- ②東濃鉄道バス滝呂台線 滝呂台バス停下車 徒歩15分
中央自動車道多治見J.Cから車で30分
- ③特になし
- ④樹林活動（林内歩道の整備・林内同団歩道整備・歩道沿いの環境整備 など）
- ⑤笠原中学校（渡辺敏博校長 生徒数298名）
笠原町建設課 TEL.0572-43-3131

